

第6章 参考資料



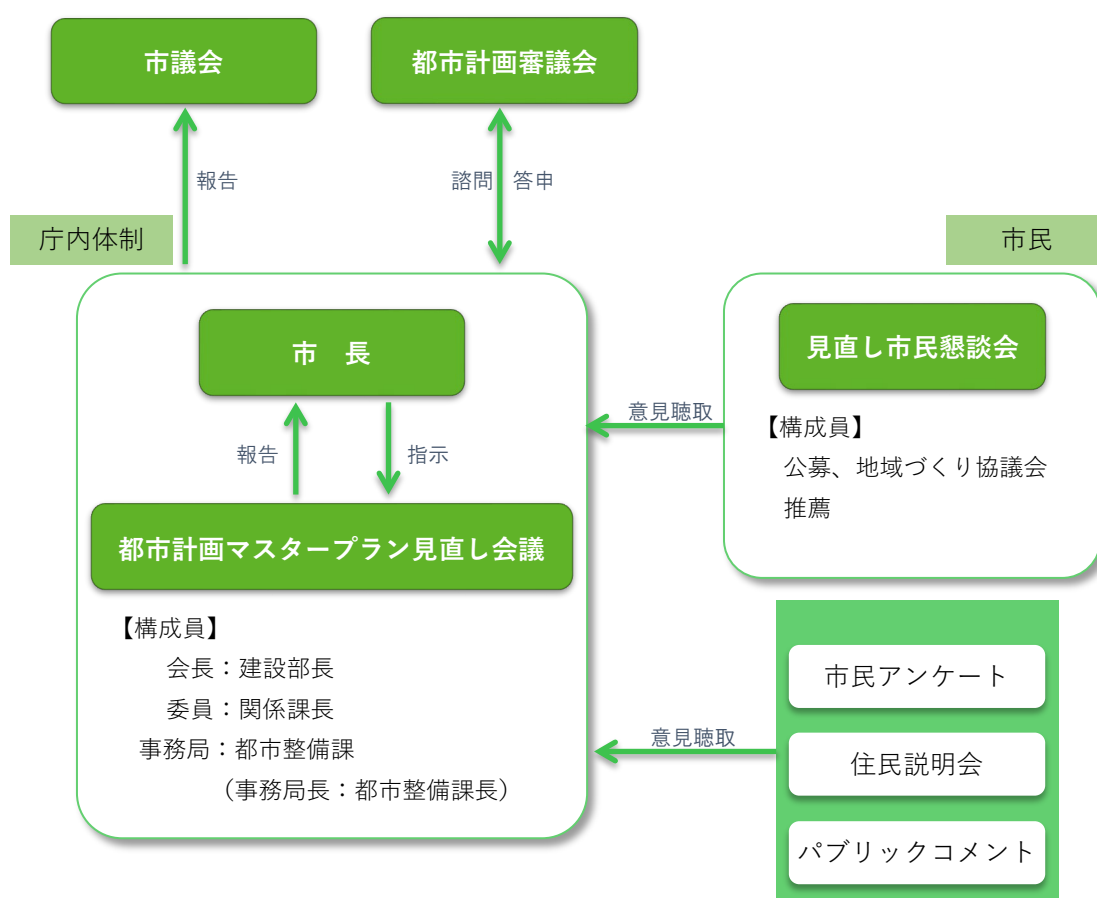
第6章 参考資料

6-1 鹿角市都市計画マスタープラン（改定版）策定体制

6-1-1. 策定体制

鹿角市都市計画マスタープラン（改定版）の策定体制として、地域づくり協議会や公募市民の方々と構成される「都市計画マスタープラン見直し市民懇談会」、庁内体制として、関係各課長などから構成される「都市計画マスタープラン見直し会議」を組成し、各段階において内容や方向性について検討しました。

市民意見については、計画見直しに関する市民アンケートの実施、住民説明会、パブリックコメント等により意向を把握し、適宜計画に反映しました。



6-1-2. 各組織の役割

組織名	構成員	役割
都市計画マスタープラン見直し市民懇談会	市民公募、地域づくり協議会（花輪、尾去沢、八幡平、十和田）	事務局作成の計画案に対する意見、検討
都市計画マスタープラン見直し会議	関係各課の課長等	計画の専門事項に関する庁内横断的な検討
都市計画審議会	鹿角市都市計画審議会委員	原案に対する審議

6-1-3. 見直し市民懇談会委員名簿

	所属等	氏 名
1	花輪地域づくり協議会	賀川 満
2	尾去沢市民センター協議会	藤原 純一
3	八幡平地域づくり協議会	高田 幸良
4	十和田地域づくり協議会	豊下 茂
5	公募	早川 航
6	公募	安保 大介
7	公募	小田嶋 伸一
8	公募	中村 光心
9	公募	奈良 大氣
10	公募	山崎 祐一
11	公募	倍賞 一志
12	公募	前田 竜児
13	公募	湯沢 託守

敬称略、順不同

6-1-4. 見直し会議委員名簿

	所属等
1	建設部長
2	総務課長
3	政策企画課長
4	市民共動課長
5	福祉総務課長
6	農林課長
7	産業活力課長
8	上下水道課長
9	総務学事課長
10	生涯学習課長

6-2 策定経緯

年月日	会議名等	概要
平成 30 年 8 月 23 日	議会報告	・都市計画マスタープラン見直し方針について
平成 30 年 8 月 27 日	都市計画マスタープラン見直し会議（庁内会議）	・都市計画マスタープラン見直し方針について ・市民アンケート調査について
平成 30 年 9 月 3 日	第 1 回 都市計画マスタープラン見直し市民懇談会	・委嘱状交付 ・都市計画マスタープランについて ・市民アンケート調査予定について
平成 30 年 9 月 10 日～ 9 月 30 日	市民アンケート調査の配布、回収	・対象：市民 2,000 人（16 歳以上 75 歳未満） ・回収数：981 通（49.1%）
平成 30 年 9 月 28 日～ 10 月 31 日	「鹿角市都市計画マスタープラン」施策確認シートの庁内配布、回収	・見直し計画への事業の位置づけについて、関係各課・班に配布、回収
平成 30 年 12 月 12 日	議会報告	・市民アンケート調査結果について
平成 30 年 12 月 14 日	第 2 回 都市計画マスタープラン見直し市民懇談会	・市民アンケート調査結果について ・課題の整理について
平成 31 年 3 月 8 日	第 3 回 都市計画マスタープラン見直し市民懇談会	・課題の整理について ・まちづくりの目標について
令和元年 6 月 18 日	都市計画マスタープラン見直し会議（庁内会議）	・全体構想（案）について
令和元年 8 月 29 日	第 4 回 都市計画マスタープラン見直し市民懇談会	・地区別のまちづくりにおける課題について
令和元年 12 月 6 日	都市計画マスタープラン見直し会議（庁内会議）	・地区別構想（案）について
令和 2 年 2 月 3 日 ～3 月 2 日	パブリックコメント	・都市計画マスタープラン改定版について
令和 2 年 2 月 12 日	住民説明会（毛馬内会場）	・都市計画マスタープラン改定版について
令和 2 年 2 月 13 日	住民説明会（花輪会場）	・都市計画マスタープラン改定版について
令和 2 年 2 月 17 日	議会報告	・都市計画マスタープラン改定版について
令和 2 年 2 月 25 日	第 5 回 都市計画マスタープラン見直し市民懇談会	・都市計画マスタープラン改定版について
令和 2 年 3 月 17 日	都市計画審議会	・都市計画マスタープラン改定版について（答申）
令和 2 年 3 月 25 日	庁議	・都市計画マスタープラン改定版について（決定）

6-3 アンケート結果概要

6-3-1. 調査の概要

(1) 調査の目的

現行計画の見直しにあたって、現在のまちの状況や将来のまちづくり等に関する市民の意見や意向を把握することを目的としたアンケート調査を実施しました。

本調査により地区別・年代別のまちづくりに関する満足度や問題認識、将来に向けた要望等を把握し、地域の役割や将来目指すべき姿を検討する基礎資料としました。

(2) 実施時期

【配布】平成 30 年 9 月上旬

【回収期限】平成 30 年 9 月 30 日

(3) 調査対象者と抽出方法

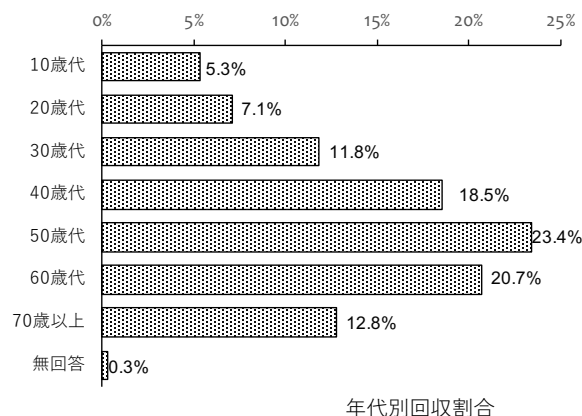
○市民 2,000 人

○16 歳以上 75 歳未満の市民を無作為に抽出

(4) 回収数と回収率

○回収数：981 通

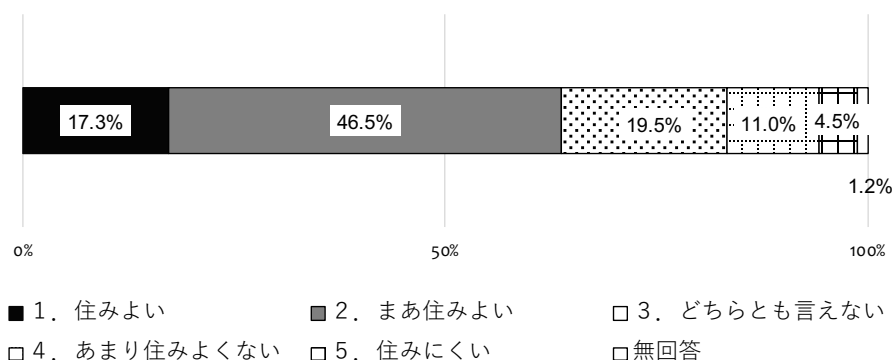
○回収率：49.1%



6-3-2. 結果の概要

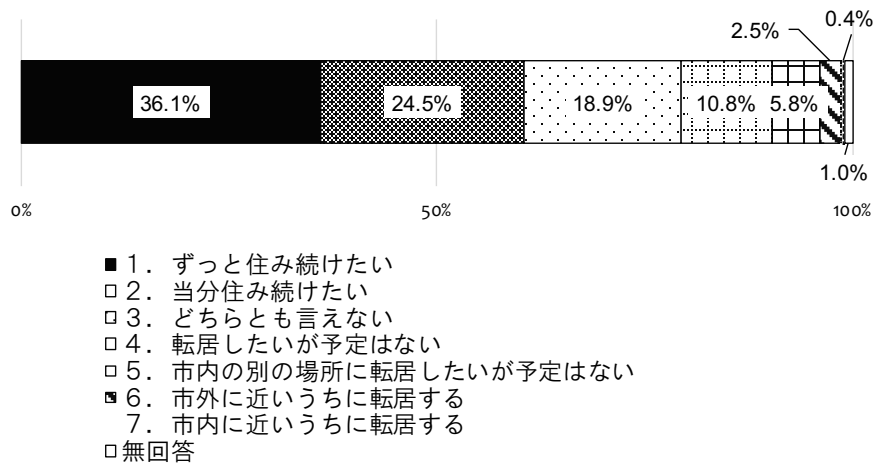
a) 住み心地

- 市全体では『住みやすい』（「住みよい」と「まあ住みよい」の合計）が 6 割以上。
- 地区別では、どの地区も『住みやすい』が 6 割を超え、八幡平地区が最も高い。
- 年代別では、どの年代も『住みやすい』が半数を超え、60 歳代が最も高い。30 歳代は『住みづらい』（「住みにくい」と「あまり住みよくない」の合計）の回答が約 2 割。
- 平成 17 年と比較すると大きな変化はみられない。『住みやすい』は 2.3 ポイント増加、『住みづらい』は 1.4 ポイント減少。



b) 居留意向

- 市全体では『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」と「当分住み続けたい」の合計）が6割を超える。
- 地区別では、どの地区も『住み続けたい』が半数を超え、花輪地区が最も高い。



c) 鹿角市のまちづくりの満足度

【満足度が高いまちづくりの取り組み】

- ・山林、水辺、農地等の自然環境の豊かさ（満足度の最上位）
- ・市民センターや図書館、文化ホールなどの施設
- ・ごみなどが少ない、清潔さ

【不満が高いまちづくりの取り組み】

- ・市街地の「賑わい」への不満（不満の最上位）
- ・バスや鉄道など、公共交通機関の利便性への不満
- ・日常、歩いて買い物ができる商業環境への不満

【年代別】

- ・10～20歳代では「山林、水辺、農地等の自然環境が豊か」の満足度が特に高く、「日常、歩いて買い物ができる」の満足度は低い。
- ・各年代とも「市街地に『賑わい』がある」の満足度が低い。
- ・20～60歳代で「バスや鉄道など、公共交通機関は利用しやすい」の満足度が低い。

【平成17年との比較】

○平成17年より満足度が上昇した項目

- ・市民センターや図書館、文化ホールなどの施設が暮らしに役立っている
- ・ごみなどが少なく、きれい
- ・公園や子供の遊び場がある
- ・高齢者や障がい者に対して優しく、福祉の取り組みを行っている
- ・昔ながらの歴史や文化を感じる街並み

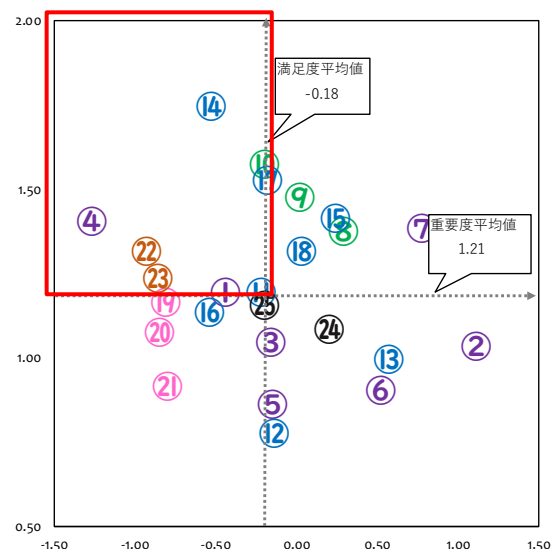
○平成17年より満足度が下降した項目

- ・地元の商店街や朝市での買い物が便利
- ・日常、歩いて買い物ができる
- ・街並みや景観が美しい
- ・下水道などの整備

d) 満足度と重要度から導き出される重点的な取り組み

【重点的な対策が必要な取り組み】

- ・病院、診療所などの医療機関の充実
- ・災害時の避難所、避難経路の整備などの災害への備え
- ・市街地の「賑わい」の創出
- ・公共交通機関の利便性の向上

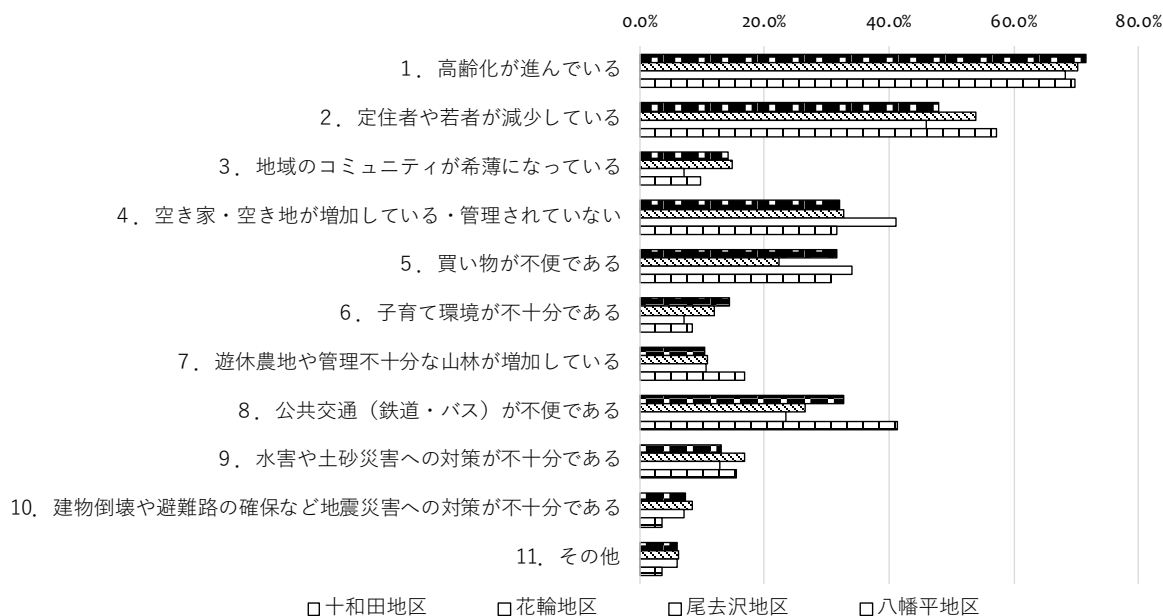


		満足度	重要度
①	(1)広域から人が訪れる魅力のあるまち	-0.44	1.19
②	(2)山林、水辺、農地等の自然環境が豊か	1.11	1.03
③	(3)街並みや景観が美しい	-0.16	1.04
④	(4)市街地に「にぎわい」がある	-1.34	1.40
⑤	(5)昔ながらの歴史や文化を感じる街並み	-0.15	0.85
⑥	(6)緑や花が多く、うるおいを感じるまち	0.52	0.90
⑦	(7)ごみなどが少なく、きれい	0.79	1.38
⑧	(8)他の町へ行く道路が便利	0.29	1.37
⑨	(9)身近な生活道路の安全	0.02	1.47
⑩	(10)災害時の避難経路の整備	-0.20	1.57
⑪	(11)公園や子供の遊び場がある	-0.22	1.19
⑫	(12)散歩ができる水辺や川がある	-0.14	0.77
⑬	(13)市民センターや図書館、文化ホールなどの施設が暮らしに役立っている	0.57	0.99
⑭	(14)病院、診療所などの医療機関がある	-0.53	1.74
⑮	(15)高齢者や障害者に対してやさしく、福祉の取り組みを行っている	0.24	1.41
⑯	(16)日常や休暇に遊ぶことのできる、スポーツやレジャー施設、広場がある	-0.54	1.13
⑰	(17)避難所などの災害への備え	-0.18	1.52
⑱	(18)下水道などの整備	0.03	1.31
⑲	(19)日常、歩いて買い物ができる	-0.81	1.16
⑳	(20)地元の商店街や朝市での買い物便利（店舗の種類、品揃えなど）	-0.85	1.07
㉑	(21)家族や友達とお茶を飲んだり、おしゃべりしたり、ゆっくり休んだりできる場所や	-0.80	0.91
㉒	(22)バスや鉄道など、公共交通機関は利用しやすい	-0.93	1.31
㉓	(23)駅周辺の広場や駐車場、駐輪場などが利用しやすい	-0.86	1.23
㉔	(24)魅力的なイベントや催し物、お祭りがある	0.20	1.08
㉕	(25)鹿角市の紹介やイベントの情報発信の充実	-0.20	1.15
	①～㉕満足度と重要度の平均値	-0.18	1.21

e) まちづくりの課題

【対応すべき課題】

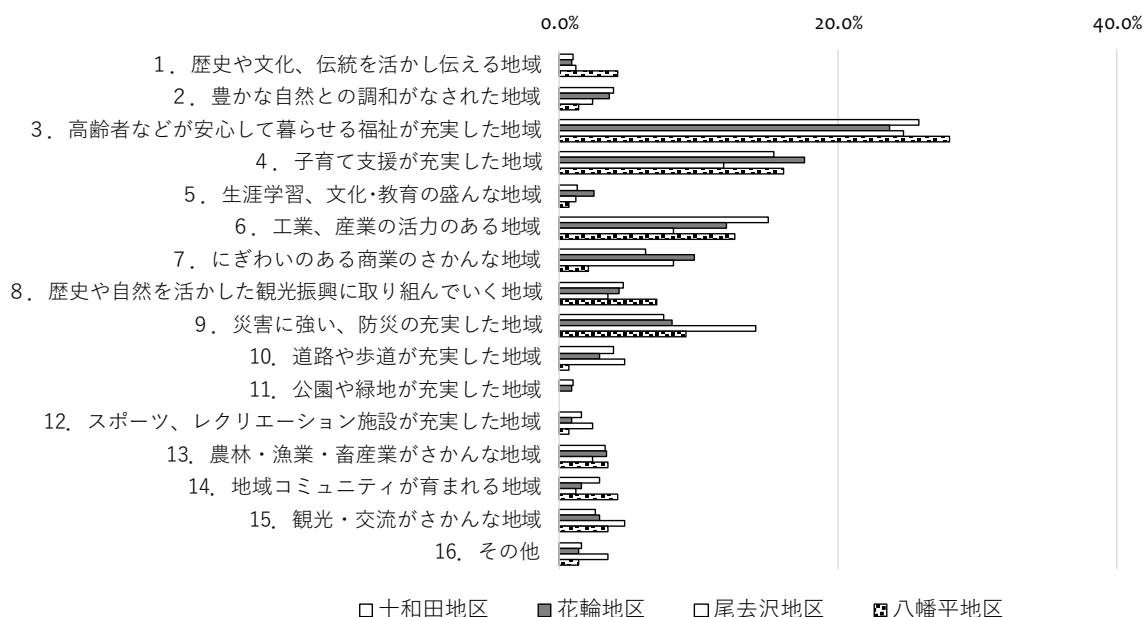
- ・高齢化が進んでいる（全地区） →高齢者が暮らしやすいまちづくり
- ・定住者や若者が減少している（全地区） →若者などの定住促進
- ・空き地・空き家が増加している・管理されていない（尾去沢地区） →空き地、空き家対策
- ・公共交通（鉄道・バス）が不便である（八幡平地区・十和田地区） →公共交通網の再構築



f) 将来像

【地域の将来像】

- ・高齢者などが安心して暮らせる福祉が充実した地域（全地区）
- ・子育て支援が充実した地域（全地区）
- ・工業、産業の活力のある地域（八幡平地区・十和田地区）
- ・賑わいのある商業のさかんな地域（花輪地区）
- ・災害に強い防災の充実地域（尾去沢地区）



g) まちづくりのルール

【今後、まちづくりに必要なルール】

- ・賑わいある商店づくりを進めるためのルール（最も必要なルール）
- ・住みよい住宅づくりを進めるためのルール
- ・工場跡地や農地等の低・未利用地の土地利用の見直しを進めるためのルール

	実数	構成比	H17 実数	H17 構成比	比較
1.住みよい住宅づくりを進めるためのルール	447	45.6%	132	34.2%	↑
2.賑わいある商店づくりを進めるためのルール	483	49.2%	120	31.1%	↑
3.幹線道路沿いの景観や環境を守るためのルール	180	18.3%	105	27.2%	↓
4.工場跡地や農地等の低・未利用地の土地利用の見直しを進めるためのルール	444	45.3%	130	33.7%	↑
5.現在の自然環境を守っていくためのルール	302	30.8%	164	42.5%	↓
6.歴史ある街並みを守っていくためのルール	148	15.1%	98	25.4%	↓
7.市全体の景観づくりを進めるためのルール	271	27.6%	-	-	-
8.コンパクトなまちづくりに向けた、区域ごとの居住の誘導・抑制を進めるためのルール	236	24.1%	-	-	-
9.その他	31	3.2%	20	5.2%	↓

h) 自由意見の要約

- ☐ 高齢者福祉も重要だが、同じように若者が住み続けられる、住み続けたいと思えるような施策が重要という意見が大変多く見受けられます。
- ☐ 安定した収入や就業環境の整備により定住や人口増が望めるという意見も多く挙げられています。
- ☐ 子育て環境は以前より充実したという意見が複数出されていますが、一方で市内に産科がなくなったために不安（そのために転居も考える）という意見が散見します。
- ☐ 病院については更なる充実が望まれており、そこへ行くまでの足の確保に不安を訴える意見も多く、公共交通網の充実が強く望まれています。
- ☐ 買い物環境への不満も多く、中心市街地の商店の活性化や大型店の誘致、（自宅から）歩いて買い回りができる環境が望まれています。
- ☐ 災害対策としては、水害（米代川）の対策強化や雪対策、クマ対策が多く望まれています。
- ☐ 道路整備の促進や歩行空間の安全性の向上、または道路環境の向上（草刈り）なども多く挙げられています。
- ☐ コンパクトシティについては必要と理解を示す意見がある一方で、よくわからないといった意見も見られます。
- ☐ 交流人口が増加するような取組やイベントの実施、現状のイベントの見直し、観光振興の推進なども望まれています。